

母親委員会だより

H. 25 年 7 月発行

夏空がひときわまぶしく感じられる季節となりました。いかがおすごでしょうか？新一年生もすっかり学校生活にも慣れ、初めての夏休みですね。

母親委員会では、研修会や講演会に参加し、他校との交流などで得た情報を皆様にお伝えしていきたいと思います。

母親委員会について

母親委員会は各校母親委員長 53 名（小 38 名、中 15 名）で構成され、運営委員会での様々な情報交換や話し合いを通し、そこで得た情報を各自学校に持ち帰り、広報し活用する役割を担っています。

具体的な活動としましては、PTA 活動における母親委員の役割追求、市 P 連や各位 PTA における母親委員会の組織の確立、家庭教育における研修計画、学校及び各団体（地域）との連携などです。

春日井市では地域、学校、家庭でのコミュニケーションを通して、子育てや交流を図ることを推奨しています。我が藤中ブロックでも学校を通じ、各家庭に研修会等のお知らせをしています。

研修会やボランティア活動を通し、各学校の保護者様の交流が深まるような楽しい研修会を企画運営していきます。

スマイルネット春日井

子どもたちにとって安全なまちづくりを進めていくためにはまず、私たち保護者が、「自分の子どもは自分で守る」という認識をもつこと、そして、保護者自身も地域の一員として、安心・安全なまちづくりに参加することです。「地域の安全は、地域で守る」の防犯意識を高め、見守りの雰囲気を作っていく必要があります。

スマイルネット春日井は、春日井市各校でも普及活動に取り組んでいますが、市 P 連や母親委員会は、このスマイルワッペンを積極的に推進する立場をとっています。

スマイルネットの活動はワッペンをつけることから始まります。

学校に出かけるとき、あいさつ運動や見守り活動、資源回収のとき、パトロールのとき、また日常の散歩やジョギング、買い物に出かけるときなどにご活用下さい。こうした活動は、犯罪抑止の大きな原点となります。

子どもたちはこのワッペンの方は地域や学校の保護者だと認識しています。

起きるかもしれない犯罪を未然に防ぐ・・・

このことが子ども達を守っていく第一歩となるのではないのでしょうか？

申し込み問い合わせは各校
教頭または母親委員まで

春日井市内の各ブロックの**母親委員会だより**が下記よりご覧いただけます。

<http://www.schoolweb.ne.jp/ka sugai/pta/>



“安全・安心を見守る活動”



活 動 報 告

- 4/17 新旧母親委員長引き継ぎ
5/31 藤中ブロック母親委員会総会
藤山台中学校
6/11 藤中ブロック
第1回母親委員会研修会
西藤山台小学校
「南国リゾート気分のアロマ香水作り」
講師 高須美由紀先生
- 
- 6/20 市P連研修会
第1回母親委員会運営委員会
グリーンパレス
講演「人と人との間、あたたかい
関係性を作るもの」
講師 春日井市男女共同参画課
清水清美先生
- 7月 母親委員会だより 第1号発行

活 動 計 画

- 10/4 第2回母親委員会運営委員会
10/22 藤中ブロック
第2回母親委員会研修会
藤山台小学校
「ガラス工芸講座」
11/19 車椅子磨き奉仕活動
春緑苑
※たくさんの方のご参加をお願いします。
12/5 第3回母親委員会運営委員会
1/9 春日井市小中学校
PTA 研究発表大会
2/14 第4回母親委員会運営委員会
2月 母親委員会だより 第2号発行

その他に、母親委員会運営委員会等に出席予定です。

総会では、藤山台中学校長の恩田先生のお話がありました。長年お勤めいただいている先生から、子どもたちを取り巻く環境や、地域、社会の移り変わりなど家庭内だけでは知り得ない興味深いお話を聞かせていただきました。学校、地域が協力しながら子どもたちを取り巻く環境づくりをしていくことを今一度認識し、子どもたちのために今できることを考えて行こうと思います。

講師として、アロマインストラクターの高須美由紀先生をお迎えしてアロマの香水作りを開催しました。先生が材料の精油を並べて準備を始めると、部屋中がラベンダーやティーツリーなどの良い香りで一杯に…。リラクスマードの中、精油の効能を教わりながら一つ一つブレンドして香水を作っていました。

精油一滴を作るのに、どれだけたくさんのお花が必要かということや、クレオパトラの好んだ香りは何か、蚊の嫌う香りは…などなど、先生の楽しいお話にすっかり引き込まれ、アロマセラピーの奥の深さを知ることができた2時間でした。

DV という言葉を聞いて、ただ単に「暴力」という言葉を想像する人は多いと思います。

「暴力」と言ってもその内容には、体・心・お金に関するもの・性的なものや様々な暴力があります。その行為が行われる関係性にも、夫婦間・恋人間・会社での上司と部下・友達間・先生と生徒・そして親子間などがあります。

今まで何度もDVという言葉を目にしたことはありますが、それが実はとても身近に起こり得るものだと思いました。知らず知らずのうちに子どもに「あれやりなさい、これやりなさい」と自分の気持ちを押しつけていることがあります。子どもが反論した時に聞く耳を持たなかったり、言い返すことができない状況を作ったりといった対等でない関係はDVがいつ起こってもおかしくない状況だそうです。

日頃より支配、被支配の関係を作るのではなく、**相手を尊重し、自分の価値観を押しつけない「対等に言い合える関係づくり」**が一番大切だと教わりました。

そして、心や体が傷ついたりストレスを感じた時には、気持ちを落ち着かせる為に信頼できる人に話を聞いてもらったり、専門の相談機関で話を聞いてもらう事も大切だそうです。子育て、職場、夫婦間など、自分自身を取り巻く環境において避けては通れない「他人との関係性」について、日々悩む事が多くありますが、よりよい考え方の方向性を指し示して頂きました。